



地域支援センター「みみらんど・郡山」

平成26年度 きこえとことばの基本研修会

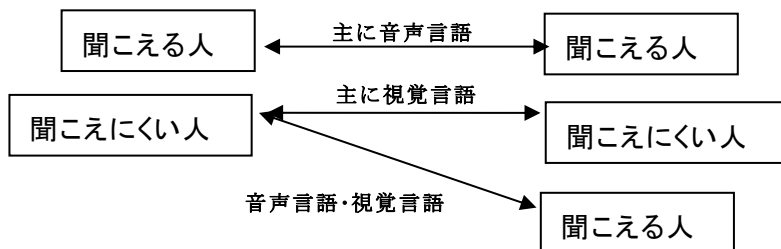


第3回 ①「手話・指文字について」

8月20日(水)に第3回きこえとことばの基本研修会が行われ、中村孔一教諭が「手話・指文字について」の話をしました。夏休み中でしたが、たくさんの先生が参加してくださいました。



(1)コミュニケーションの方法・・・口話、聴覚活用、読話、手話、指文字、文字、身振り等・・・



手話などの視覚言語を併用すると情報量が多くなる。

(2)手話の3つのタイプと指文字

日本手話

聞こえにくい人の中で自然に生まれた言語。日本語とは全く異なる言語。

中間型手話

日本手話と日本語対応手話の中間の性格をもつ。聞こえる人と聞こえない人とのコミュニケーションで多く使われる。

日本語対応手話

日本語の語順に合わせ手指で表す。助詞や助動詞は指文字や口形で表す。

指文字

日本語の五十音に対応したもの。アルファベット式指文字や数の指文字もある。

手話の良さを生かすと物語も楽しめます。当日は、昔話「かぐや姫」の一節をイメージ豊かに手話で表現しました。

チェーンメソッド

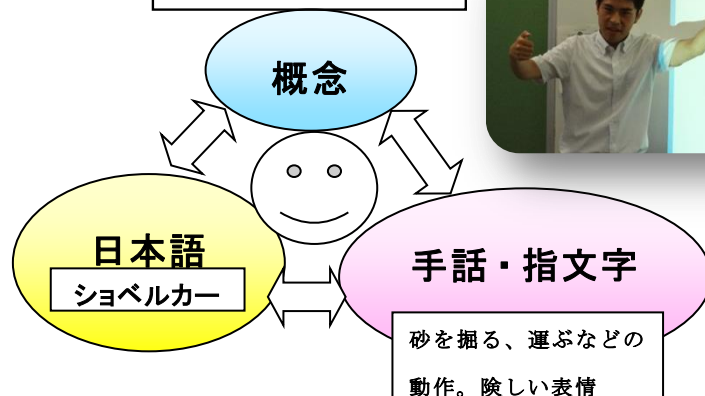
重い、大きい、黄色、重いものを運ぶ、ガガガガー、ザックザック、



(3)安心して学校生活を送るために・・・

人間は他人と関わりながら成長

- ・音声情報＋視覚的情報
- ・多様なコミュニケーションツールの活用
- ・チェーンメソッドを意識した言語活動
- ・友達とのコミュニケーションの活性化
- ・親や教師との確かな信頼関係



参加者の感想

☆聞こえにくい人は自分の経験や周囲の状況などからも情報を得て判断していること、時に勘違いもあるので確認が大切なこと、また、より多くの情報を伝えるために、音声情報のほか、手話や指文字等、いろいろなコミュニケーションツールの活用が大切なことが分かりました。